

10月みちしるべ VOL.70

~Run to the FUTURE~

全国のみんな、これにちは!!

いよいよ10月ですね。今年になってからまもなく10ヶ月が過ぎました。10ヶ月というと、とても長い時間のようでもあるし、そんなに時間もたっていないように思ひかもしれません。しかしこれを日数に変えてみると、なんと274日になります。さらに時間に直すと6,576時間、分にすると394,560分!! そして、極めつけの秒にすると、23,673,600秒になります。途方もない数字になってしまいましたね。こうやって見方を変えてみると、なにか今までとは違う感じがしませんか? 時は待ってくれません。受験生のみんなも、そうでない人も、過ぎてしまった事を後悔するのではなく、今までの失敗を反省し、今から同じ事を繰り返さないように気持ちを入れ替えて、12月までを過ごしましょう。

食欲の秋

多くの種類が全身に上げを持っていて、中には「ガンガゼ」のように毒を持つものもあります。また、「タコノマクラ」のように、一般に知られていないウニとはかけ離れた外見を持つものもあります。

生殖腺(精巣・卵巣)を食べます。主に食用になるのは、「バフンウニ」、「エゾバフンウニ」、「キタムラサキウニ」、「アカウニ」、「ムラサキウニ」などで、沖縄では「シラヒゲウニ」が一般的とも聞きます。

食べる時は「刺身」や「寿司のネタ」、「ウニ丼」などが多いです。生で食べることが多いので、鮮度が重要視されます。生で食べるほかは、殻に乗せて焼いた「焼きウニ」、パスタのソースなどになります。欧米ではほとんど食べられないようです。

日本三大珍味

「うに」

多くの種類が全身に上げを持っています。中には「ガンガゼ」のように毒を持つものもあります。また、「タコノマクラ」のように、一般に知られていないウニとはかけ離れた外見を持つものもあります。

生殖腺(精巣・卵巣)を食べます。主に食用になるのは、「バフンウニ」、「エゾバフンウニ」、「キタムラサキウニ」、「アカウニ」、「ムラサキウニ」などで、沖縄では「シラヒゲウニ」が一般的とも聞きます。

食べる時は「刺身」や「寿司のネタ」、「ウニ丼」などが多いです。生で食べることが多いので、鮮度が重要視されます。生で食べるほかは、殻に乗せて焼いた「焼きウニ」、パスタのソースなどになります。欧米ではほとんど食べられないようです。

「このわた」

ナマコの腸の塩辛です。江戸時代に、尾張の徳川家が徳川將軍家に献上したこともあるそうです。主な産地は伊勢湾や三河湾だったそうです。今は瀬戸内海や能登半島など、各地で作られています。日本酒や焼酎によくあうと言われますが、これは塾生の皆さんにはなじみがないですね。「このわた汁」という食べ方もあります。

食べる時は「刺身」や「寿司のネタ」、「ウニ丼」などが多いです。生で食べることが多いので、鮮度が重要視されます。生で食べるほかは、殻に乗せて焼いた「焼きウニ」、パスタのソースなどになります。欧米ではほとんど食べられないようです。

「からすみ」

「ボラ」の卵巣を塩漬けしてから塩抜きし、乾燥させたものです。「サワラ」や「サバ」を使うこともあります。塩味の濃いチーズのような味で、高級なおつまみです。薄く切ってオードブルにしたり、すりおろして酢を混ぜて「からすみ酢」にしたりするそうです。これもお酒のおつまみとして食べられることが多いので、塾生の皆さんのはじみは薄いかもしれません。海外では、台湾やイタリアで食べられているようです(イタリアではタラやマグロの卵巣も使うそうです)。

食べる時は「刺身」や「寿司のネタ」、「ウニ丼」などが多いです。生で食べることが多いので、鮮度が重要視されます。生で食べるほかは、殻に乗せて焼いた「焼きウニ」、パスタのソースなどになります。欧米ではほとんど食べられないようです。

世界三大珍味

「キャビア」

「チョウザメ」の卵の塩漬けです。クラッカーに乗せて食べるイメージでしょうか。主な産地はロシアで、特にカスピ海とアムール川が有名です。カスピ海はイランにも面しているため、イラン産のキャビアも知られています。カスピ海に住むチョウザメの種類によって、卵の粒の大きさとブランドの価値が異なるそうです。

キャビアを採取するためにはチョウザメを殺さなければならず、そのため漁獲高が激減して価格が高くなり、問題になりました。そのため、資源保護や資源管理が重要で、養殖も広がっています。

「日本三大珍味」と「世界三大珍味」を紹介しました。名前を聞いたことがある物もあったと思いますが、高級品だったり、お酒のおつまみだったりと、塾生の皆さんにはあまりなじみが無いものだったかもしれません。でも、この先実際に食べたときに記憶がよみがえるかもしれませんね。お楽しみに。

日本にも世界にも色々な食べ物があります。「三大珍味」というようなめずらしいものでなくとも、皆さんの住んでいる土地にもそこならではの食べ物があると思います。最近、「ご当地グルメ」が流行っていてグランプリなどもよく行われています。皆さんの住んでいる土地の「自慢の食べ物」、「めずらしい食べ物」があったら紹介してください。皆で食べた気になつておいしい気分にひたりましょう。そして将来、本当に色々と食べ歩くことを考えるととても楽しみでしょう。

2012年10月1日発行
発行元
早稲田音英ゼミナー
0120-198176
www.wasedaikuei.co.jp

絶滅危惧種

環境省は、絶滅のおそれがある野生生物を「レッドリスト」として、平成3年に初めてまとめました。その後、生息状況の調査などを行っていきます。

リストでは、絶滅の危険度に応じて、国内すでに絶滅したと考えられる「絶滅種」、野生では絶滅し、人の飼育のみで生存している「野生絶滅種」、絶滅のおそれが高い「絶滅危惧種」などに分類しています。こうした野生生物が絶滅したかどうかは、国が専門家と共に検討して、「信頼できる調査や記録で生息が確認できない」ことが判断の基準となります。



環境省は、「ニホンカワウソ」について「レッドリスト」では絶滅のおそれが高い「絶滅危惧種」に指定していました。その後も調査は続けられましたが、専門家と共に検討した結果、中型の「ニホンカワウソ」が長期間、人目につかないことは難しく、30年以上、生息が確認できる情報がなかったことからすでに絶滅したと判断し、「絶滅種」に変更しました。



レッドリストの中で、「絶滅種」はこれまで哺乳類では平成3年に「ニホンオオカミ」「エゾオオカミ」「オキナワオオコウモリ」「オガサワラアラコウモリ」の4種類が指定されていました。このうち、「ニホンオオカミ」は、かつて本州から九州にかけて生息が確認されていましたが、狂犬病がまん延したあと駆除が進み、明治38年に奈良県で若いオスが捕獲されたのを最後に生息は確認されていません。また、北海道には「ニホンオオカミ」よりも大型の「エゾオオカミ」がいましたが、駆除が進み、明治時代に絶滅したということです。

さらに「オキナワオオコウモリ」と「オガサワラアラコウモリ」は、19世紀に捕獲された標本が残っているだけで、詳しい生態は分かっていないということです。

これまで指定されていた4種類はいずれも明治時代までに絶滅していたとみられ、昭和まで生息が確認されていた哺乳類が「絶滅種」に指定されたのは、今回が初めてです。

環境省は8月28日、絶滅の恐れのある野生生物を調べた「レッドリスト」を見直し、ニホンカワウソを絶滅危惧種から「絶滅種」に指定するなど改訂版を公表しました。新たに8種が絶滅種に指定され、419種が絶滅危惧種になりました。

新たに絶滅種と判断されたニホンカワウソは、最後の目撃が北海道で1955年、本州以南では79年とされています。専門家の分析でも、北海道亜種は50年代、本州以南亜種は90年代にすでに絶滅したとされてきました。カワウソのような比較的大きな動物が長期間目撃されていないことや、生息確認調査などの結果から絶滅種と判断しました。

哺乳類ではニホンカワウソの本州以南亜種と北海道亜種、沖縄・宮古島に生息していたミヤコキクガシラコウモリの3種。鳥類では、沖縄の北大東島、南大東島だけに生息していた猛禽類ダイトウノスリが70年代以降に目撃されておらず、絶滅したとされました。昆虫類ではスジゲンゴロウ、貝類ではリュウキュウカラバンショウ、植物ではコバヤシカナワラビ、ツクシカネラングが新たに絶滅種に指定されました。

魚類を除く動植物9分類で、絶滅のおそれがある絶滅危惧種に指定された総数は、6年前に改訂された前回のリストから419種増えて3430種となりました。特に増えたのは昆虫類で119種増えて358種に。貝類も186種増えて563種が指定されました。

「ニホンカワウソ」は、国内の川や海辺に生息する体長が1メートルほどのイタチ科の哺乳類で、全長1メートル前後、体重が4キロから11キロほどで、手足は短く、指の間に水かきがあるのが特徴です。かつては北海道から九州まで広い範囲で生息していました。川の中流や下流、それに海岸近くに生息して、魚やえびなどを食べ、陸上で休むこともあります。



す。清流を好む動物で、豊かな自然環境がどれほど残っているかのパローメーターとされています。二本足で立ち上がる愛きようある姿が親しまれ、カッパのモデルとも言われていました。しかし、自然環境の悪化や良質な毛皮を目的とした乱獲で生息数が大幅に減り、昭和54年に高知県須崎市の川で目撃されたのを最後に、確実な生息情報はありませんでした。

他の日本の絶滅種・絶滅危惧種

トキ…かつては日本の広範囲にわたり生息していたが、乱獲や開発により激減していました。2003年に日本産最後のトキ「キン」が死亡したことにより、生き残っているのは中国産の子孫のみとなりました。

リュウキュウカラスバト…名前の由来は沖縄に生息していました。1936年に捕獲されたのが最後。もともと個体数が少くこと食用として捕獲されていました。さらに森林の破壊とともに数を減らしてきました。

クニマス…かつては秋田県の田沢湖にのみ生息する固有種で1940年頃に絶滅したと考えられています。しかし、2010年に山梨県の西湖で生存個体が発見されました。タメントのさかなクンがイラスト参考に取り寄せたヒメマスの中から発見。1935年に田沢湖から西湖に送られた受精卵10万個が孵化し、繁殖したようです。以前からクロマスという存在はしられていましたが、その正体がクニマスだったのです。

イリオモテヤマネコ…西表島に生息する固有種。交通事故や、開発に伴う原生林の伐採、湿地の開発といった人間の手による自然環境の変化。飼い猫や野良猫との競合や伝染病の伝播により絶滅が恐れられています。

ジュゴン…熱帯や亜熱帯の浅い海に生息します。極端な偏食のため、アマモの藻場がなくなれば、その地域では絶滅します。1日に体重の約10%の海草を食べます。日本では魚網によっての混獲、藻場の減少、米軍基地の建設が絶滅に追い込み要因とされています。

ウミガラス…繁殖失敗の原因の一つはハシブトウミガラスやオオセグロカモメによる卵や雛の捕食です。オオセグロカモメは大型のカモメで近年数を増加しており、漁業や人間の廃棄物を餌として利用してきたことがその原因の可能性があります。天売島では捕食者であるオオセグロカモメがウミガラスの個体数よりも多く、他の繁殖地よりもウミガラスへの捕食量が高いくことを示唆しています。実際に、天売島のウミガラスは過去に繁殖していた赤岩・屏風岩・カブト岩などの開けた場所では繁殖しなくなり、捕食者の攻撃から卵や雛を守り易い狭い岩のくぼみなどで音声やデコイによって誘引されながらかろうじ繁殖をしている状況です。

アベサンショウウオ…広葉樹からなる二次林や竹林に生息します。開発による生息地破壊、ゴミの不法投棄などにより生息数は激減しています。ペット用の密猟も懸念され、人為的に移入されたアメリカザリガニによって幼生が捕食されています。

レッドデータブック Red Data Book

絶滅の危機に瀕している野生動植物の名前を掲載し、その危機の現状を訴え、個体や生息地などの保護・保全活動に結びつけようという目的で出版される報告書です。国際自然保护連盟(IUCN: International Union for Conservation of Nature and Natural Resources)が1966年に、世界の絶滅のおそれのある野生生物をレッドリストとして初めて公表したのが始まりです。この第1版の表紙が赤い色をしていましたから、絶滅危惧種の掲載図書やリストは、それ以後、レッドデータブックやレッドリストと呼ばれるようになりました。国際自然保护連盟のレッドリストは、2006年時点での絶滅危惧種(Ⅰ類・Ⅱ類合計)で、植物8,393種、動物7,725種、その数は、世界中の野生動植物に迫る危機の加速とあいまって、版を重ねることで増加傾向にあります。

みんなの作文

中学3年 上新城教室
島 和巳さん 「家族愛」

私の父は新聞配達をしています。午前3時に朝刊を配りに家を出て7時に帰ってきます。午後は夕刊を配りに2時半に家を出て9時半くらいまで帰ってきません。

このように、毎日忙しそうな父ですが、家族のために仕事をしてくれています。どれだけ忙しくても休まずに働いてくれています。そんな父と家で顔を合わせる時間はあまりないのですが、いつも笑顔で楽しそうに弟や妹の面倒を見てくれています。怒ると怖い父ですが、本当に子どもが好きで特に妹には全然怒りません。こんな父が、私達家族のために毎日働いてくれて本当に幸せだと思います。

誰かのために働く、誰かを幸せにするために働くことが私は大切だと思います。人のために何かをすることは難しいかもしれません、私もいつかこんな父親のように、家族の笑顔を見るために働くような素敵な人になりたいです。そして私が大人になったとき、何か一つでも恩返しができたらいいなと思います。

私は、基本的に晴天が好きです。時に秋の季節の、雲ひとつ無い快晴の日などはたとえ小学校のある平日であっても、登校の際に心がうきうきしてしまう位です。少しかすんだ感じの春の晴天も好きですし、真夏のカット照りつける陽射しの時でも、ジメジメと雨が続いている日と比べると、やっぱり気分は明るくなります。

けれど、そんな私も、理科で、植物の育成に水が必要であると習ってからは、農作物が豊かに育てるためには、雨も、そして梅雨の季節も、とても重要なと考えようになりました。だから、雨に対する考え方少し変わってきた。小学校の雨の日の放課後の際に、しとしとと運動場にふり続ける雨を見ている時、「今ごろ田んぼのいねや、農作物達は喜んでいるかなあ。」と考えてみたら、ブルーな気分が少しだけ和らぎます。今は梅雨の時期ですので、今後の人生に役に立つような雨の日の楽しみ方を研究してみようと思います。

ち々のわ

このコーナーでは、様々なクイズ・なぞなぞ等を出題します。正解者の中から抽選で、5名の方に図書カード1000円分をさし上げます。

塾長の手元にある応募用紙(アンケート用紙)に答えを記入して、塾長に提出してFAXしてもらってください。さあ、いろいろ智恵を借りながら、みんなで楽しくレッツチャレンジ!

Q. 売れっ子の歌手、天才画家、推理小説作家、仲の良い3人が集まりました。この中にとてもおしゃべりで自分の事をなんでも話す、秘密がない人がいます。さて、いったい誰でしょう?